

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

佐大医経第1302 号  
令和 5年 10月 3日  
開設者名 国立大学法人佐賀大学  
学長 児玉 浩明

佐賀大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
氏名	国立大学法人佐賀大学

2 名称

佐賀大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号
電話(0952)31-6511

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							

## (2)外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							

## (3)その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

## (4)歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

## (5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	肝臓・糖尿病・内分泌内科	3	血液・腫瘍内科	4	ペインクリニック・緩和ケア外科	5	形成外科
6	リハビリテーション科	7	病理診断科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
22				580	602

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	359	13	364.9
歯科医師	12	0	12
薬剤師	41	1	41.4
保健師	0	0	0
助産師	15	0	15
看護師	651	30	671.1
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	2	0	2
管理栄養士	11	0	11

職種	員数
看護補助者	64
理学療法士	14
作業療法士	6
視能訓練士	4
義肢装具士	0
臨床工学士	12
栄養士	0
歯科技工士	1
診療放射線技師	35

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	40
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	9	
その他の技術員	45	
事務職員	301	
その他の職員	48	

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	52	眼科専門医	5
外科専門医	24	耳鼻咽喉科専門医	7
精神科専門医	6	放射線科専門医	14
小児科専門医	12	脳神経外科専門医	7
皮膚科専門医	4	整形外科専門医	13
泌尿器科専門医	10	麻酔科専門医	14
産婦人科専門医	12	救急科専門医	9
		合計	189

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 野口 満 ) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

R元年10月1日～R4年3月31日 医療安全管理委員会の委員として、医療安全管理の業務に従事

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	458.2 人	10.8 人	469 人
1日当たり平均外来患者数	928.4 人	50.5 人	978.9 人
1日当たり平均調剤数		796.2	剤
必要医師数		100	人
必要歯科医師数		3	人
必要薬剤師数		15	人
必要(准)看護師数		249	人

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	有
集中治療室	311.14 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	16 床 有 有	心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	128.66 m <sup>2</sup>	病床数	9 床	
	[移動式の場合]	台数	6 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	44 m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名	無			
化学検査室	261 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動血液分析機、自動生化学分析器		
細菌検査室	81 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動塗布装置、自動薬剤感受性検査装置		
病理検査室	214 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動包埋装置、クリオスタット		
病理解剖室	53 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	特殊解剖台、特殊型計量測定運搬車		
研究室	1,812 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	顕微鏡、遠心機、培養装置、パソコン		
講義室	2,047 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	15 室	収容定員	1,555 人
図書室	629 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	4 室	蔵書数	109,000 冊程度

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	87.2 %	逆紹介率	94.1 %
算出根拠	A: 紹介患者の数		11,005 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,145 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,100 人
	D: 初診の患者の数		15,026 人

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
綾部 孝典	宮崎大学医学部附属病院	○	医療機関において、医療安全に関する業務若しくは医療安全に係る研究に従事した経験を有する者	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
前川 律子	公益社団法人佐賀県看護協会		医療機関において、医療安全に関する業務若しくは医療安全に係る研究に従事した経験を有する者	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩永 幸三	認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク		医療を受ける者の立場から意見を述べるができる者	無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページに掲載	





(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	3	51	特発性血小板減少性紫斑病	31
2	筋萎縮性側索硬化症	30	52	原発性免疫不全症候群	8
3	脊髄性筋萎縮症	4	53	IgA腎症	35
4	進行性核上性麻痺	8	54	多発性嚢胞腎	30
5	パーキンソン病	67	55	黄色靱帯骨化症	16
6	大脳皮質基底核変性症	5	56	後縦靱帯骨化症	24
7	ハンチントン病	1	57	広範脊柱管狭窄症	8
8	神経有棘赤血球症	1	58	特発性大腿骨頭壊死症	123
9	シャルコー・マリー・トウス病	5	59	下垂体性ADH分泌異常症	9
10	重症筋無力症	47	60	下垂体性TSH分泌亢進症	2
11	多発性硬化症／視神経脊髄炎	60	61	下垂体性PRL分泌亢進症	9
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	12	62	クッシング病	3
13	封入体筋炎	2	63	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	13
14	クドウ・深瀬症候群	3	64	下垂体前葉機能低下症	48
15	多系統萎縮症	7	65	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
16	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	19	66	サルコイドーシス	51
17	ライゾゾーム病	5	67	特発性間質性肺炎	16
18	ミトコンドリア病	10	68	肺動脈性肺高血圧症	12
19	もやもや病	50	69	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4
20	プリオン病	5	70	リンパ脈管筋腫症	6
21	亜急性硬化性全脳炎	1	71	網膜色素変性症	13
22	HTLV-1関連脊髄症	9	72	原発性胆汁性胆管炎	18
23	全身性アミロイドーシス	42	73	原発性硬化性胆管炎	3
24	遠位型ミオパチー	2	74	自己免疫性肝炎	6
25	神経線維腫症	14	75	クローン病	135
26	天疱瘡	10	76	潰瘍性大腸炎	218
27	膿疱性乾癬(汎発型)	9	77	好酸球性消化管疾患	2
28	高安動脈炎	15	78	若年性特発性関節炎旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	5
29	巨細胞性動脈炎	3	79	先天性ミオパチー	2
30	結節性多発動脈炎	5	80	筋ジストロフィー	5
31	顕微鏡的多発血管炎	26	81	アトピー性脊髄炎	2
32	多発血管炎性肉芽腫症	34	82	脊髄空洞症	1
33	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	18	83	脊髄髄膜瘤	1
34	悪性関節リウマチ	11	84	アイザックス症候群	1
35	バージャー病	3	85	遺伝性ジストニア	1
36	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	86	前頭側頭葉変性症	2
37	全身性エリテマトーデス	232	87	ドラベ症候群	1
38	皮膚筋炎／多発性筋炎	91	88	レノックス・ガストー症候群	1
39	全身性強皮症	58	89	ランドウ・クレフナー症候群	1
40	混合性結合組織病	29	90	レット症候群	1
41	シェーグレン症候群	51	91	結節性硬化症	7
42	成人スチル病	14	92	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)	6
43	再発性多発軟骨炎	5	93	特発性後天性全身性無汗症	1
44	ベーチェット病	33	94	弾性線維性仮性黄色腫	1
45	特発性拡張型心筋症	26	95	マルファン症候群	2
46	肥大型心筋症	7	96	エーラス・ダンロス症候群	1
47	拘束型心筋症	1	97	ウィルソン病	3
48	再生不良性貧血	19	98	ウィリアムズ症候群	1
49	自己免疫性溶血性貧血	2	99	無脾症候群	2
50	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	100	プラダー・ウィリ症候群	2
101	修正大血管転位症	1			
102	完全大血管転位症	1			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
103	単心室症	5			
104	左心低形成症候群	1			
105	三尖弁閉鎖症	2			
106	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1			
107	ファロー四徴症	4			
108	アルポート症候群	2			
109	急速進行性糸球体腎炎	2			
110	抗糸球体基底膜腎炎	3			
111	一次性ネフローゼ症候群	38			
112	紫斑病性腎炎	4			
113	副甲状腺機能低下症	1			
114	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3			
115	フェニルケトン尿症	1			
116	尿素サイクル異常症	2			
117	肝型糖原病	1			
118	家族性地中海熱	3			
119	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1			
120	強直性脊椎炎	20			
121	後天性赤芽球癆	2			
122	エプスタイン症候群	1			
123	クローンカイト・カナダ症候群	1			
124	非特異性多発性小腸潰瘍症	1			
125	IgG4関連疾患	6			
126	好酸球性副鼻腔炎	23			
127	先天異常症候群	1			
128	大理石骨病	2			
129	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る)	3			
130	特発性多中心性キャッスルマン病	2			

疾患数	130
合計患者数(人)	2,151

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・呼吸ケアチーム加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	・後発医薬品使用体制加算3
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算2
・診療録管理体制加算1	・入退院支援加算1
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・入院時支援加算
・25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割未満)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・急性期看護補助体制加算(看護補助体制充実加算)	・精神疾患診療体制加算
・看護職員夜間12対1配置加算2	・精神科急性期医師配置加算
・看護補助加算2	・地域医療体制確保加算
・療養環境加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・重症者等療養環境特別加算	・救命救急入院料3
・無菌治療室管理加算1	・救命救急入院料4
・無菌治療室管理加算2	・特定集中治療室管理料2
・緩和ケア診療加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・看護職員処遇改善評価料62
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・感染対策向上加算(注2 指導強化加算)	・
・患者サポート体制充実加算	・
・	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料(注2)	・医療機器安全管理料1
・外来栄養食事指導料(注3)	・医療機器安全管理料2
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・精神科退院時共同指導料1及び2
・糖尿病合併症管理料	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
・がん性疼痛緩和指導管理料	・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)
・がん患者指導管理料イ	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・がん患者指導管理料ロ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ハ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ニ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・外来緩和ケア管理料	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・骨髄微小残存病変量測定
・糖尿病透析予防指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査(血液を検体とするもの)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞を検体とするもの)
・婦人科特定疾患治療管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・腎代替療法指導管理料	・先天性代謝異常症検査
・下肢創傷処置管理料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・外来放射線照射診療料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・検体検査管理加算(IV)
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料)	・国際標準検査管理加算
・ニコチン依存症管理料	・遺伝カウンセリング加算
・相談支援加算(療養・就労両立支援指導料)	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・がん治療連携計画策定料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・外来排尿自立指導料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・胎児心エコー法
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ヘッドアップティルト試験
・薬剤管理指導料	・人工臓器検査、人工臓器療法

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・皮下連続式グルコース測定	・外来化学療法加算1
・単線維筋電図	・無菌製剤処理料
・脳波検査判断料1	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・神経学的検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・補聴器適合検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・全視野精密網膜電図	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・ロービジョン検査判断料	・がん患者リハビリテーション料
・小児食物アレルギー負荷検査	・集団コミュニケーション療法料
・内服・点滴誘発試験	・経頭蓋磁気刺激療法
・センチネルリンパ節生検(片側)併用法	・認知療法・認知行動療法
・センチネルリンパ節生検(片側)単独法	・医療保護入院等診療料
・CT透視下気管支鏡検査加算	・処置の休日加算1
・経気管支凍結生検法	・処置の時間外加算1
・精密触覚機能検査	・処置の深夜加算1
・睡眠時歯科筋電図検査	・多血小板血漿処置
・画像診断管理加算3	・硬膜外自家血注入
・ポジトロン断層撮影	・人工腎臓
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・CT撮影及びMRI撮影	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・冠動脈CT撮影加算	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・外傷全身CT加算	・人工膵臓療法
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)
・心臓MRI撮影加算	・口腔粘膜処置
・乳房MRI撮影加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・頭部MRI撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・皮膚移植術(死体)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算2)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・羊膜移植術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・胸腔鏡下弁形成術
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))	・胸腔鏡下弁置換術
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・経カテーテル大動脈弁置換術(経皮的の大動脈弁置換術)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・網膜再建術	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(内視鏡下によるもの)に限る。)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・経皮的カテーテル心筋焼灼術における磁気ナビゲーション加算
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・経皮的の中隔心筋焼灼術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腭頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下副腎摘出手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出手術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・生体腎移植術
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・人工尿道括約筋植込・置換術
・バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下仙骨腫固定手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・体外式膜型人工肺管理料

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・手術の休日加算1	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・手術の時間外加算1	・病理診断管理加算2
・手術の深夜加算1	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・口腔病理診断管理加算2
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る)	
・輸血管理料Ⅱ	
・自己生体組織接着剤作成術	
・自己クリオプレシピレート作製術(用手法)	
・同種クリオプレシピレート作製術	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・レーザー機器加算の施設基準	
・麻酔管理料(Ⅰ)	
・麻酔管理料(Ⅱ)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	



(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腸管ホルモンGLP-1をターゲットとした肥満による難治性喘息の制御	田代 宏樹	呼吸器内科	1,170,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
がんゲノム検査で得られたゲノム情報の解析と薬効評価システムの構築	荒金 尚子	呼吸器内科	1,430,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
遺伝子多型がTotal SVD scoreと脳心血管イベントに与える影響の解明	鈴山 耕平	脳神経内科	1,040,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
スモンに関する調査研究	江里口 誠	脳神経内科	400,000	①補委 厚生労働行政推進調査事業費補助金
全ての慢性骨髄性白血病患者の治癒を目指した新規薬剤の開発と免疫状態の解明	木村 晋也	血液・腫瘍内科	780,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
cfDNA自然史と抗腫瘍免疫への影響の解明	中島 千穂	血液・腫瘍内科	780,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
成人T細胞白血病・リンパ腫の新規発症予測法の開発	勝屋 弘雄	血液・腫瘍内科	1,430,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
心房細動症例における心房筋の組織学的評価	山口 尊則	循環器内科	1,820,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
急性心筋梗塞の超急性期臨床指標を用いた汎用型予後予測モデルの開発	田中 敦史	循環器内科	910,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
血管不全の生化学的診断指針の策定	野出 孝一	循環器内科	1,430,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	江崎 幹宏	消化器内科	300,000	①補委 厚生労働科学研究費補助金
運動が2型糖尿病による気分障害を改善する機序—脂肪組織の適応に着目して	富賀 裕貴	肝臓・糖尿病・内分泌内科	650,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
サルコペニアがNAFLDの肝病態に与える影響についての検討	桑代 卓也	肝臓・糖尿病・内分泌内科	1,170,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
膵脂肪化・膵線維化の定量化の意義と膵発癌との関連	田中 賢一	肝臓・糖尿病・内分泌内科	1,560,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金

小計 14件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
in vivoにおけるウイルス感染誘導性 $\beta$ 細胞脱分化メカニズムの解明	三根 敬一郎	肝臓・糖尿病・内分泌内科	2,730,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
医療情報データベースの活用推進に関する研究	安西 慶三	肝臓・糖尿病・内分泌内科	3,380,000	補委	厚生労働行政推進調査事業費補助金
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	安西 慶三	肝臓・糖尿病・内分泌内科	300,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
3型自然リンパ球の皮膚炎と皮膚バリアにおよぼす影響の解明	杉田 和成	皮膚科	1,040,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
ファルネシル化に着目した胃癌悪液質に対する新規治療開発に向けた基礎的研究	能城 浩和	一般・消化器外科	910,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
スキルス胃癌に対するANGPTL4を標的とした新たな治療戦略の開発	馬場 耕一	一般・消化器外科	910,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
食道扁平上皮癌に対する蛋白ファルネシル化に着目した新規治療開発に向けた基礎的研究	田中 智和	一般・消化器外科	1,690,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
単一細胞解析によるCAF細胞間クロストークからみた膵癌免疫逃避機序解明とその制御	武居 晋	一般・消化器外科	2,340,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
バイオ3Dプリンタ、幹細胞技術を用いた下肢遠位動脈バイパス用小口径人工血管の開発	伊藤 学	心臓血管外科	8,190,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
頭蓋縫合早期癒合症の病態における骨芽細胞の分化とその役割	吉岡 史隆	脳神経外科	910,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
脳腫瘍幹細胞の非対称性分裂におけるエピジェネティクス制御機構の解明	中原 由紀子	脳神経外科	780,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
頸動脈プラーク内出血におけるIL-27の機能解明と新規治療の開発	緒方 敦之	脳神経外科	1,560,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
脳腫瘍のH3K27M変異をターゲットにした新規治療法の開発	阿部 竜也	脳神経外科	1,430,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
DIF-1によるMycを標的とした新たな髄芽腫治療研究	伊藤 寛	脳神経外科	1,560,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
機能的骨盤傾斜に注目した寛骨臼形成不全の病態解明と骨形態矯正アルゴリズムの確立	藤井 政徳	整形外科	1,430,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金
三次元細胞培養を用いた骨髄炎治療時の骨代謝の挙動解明	上野 雅也	整形外科	1,950,000	補委	文部科学省(日本学術振興会)科学研究費補助金

小計 16件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
バイオ3Dプリンタを用いて広範囲骨欠損再建法の確立を目指す研究	馬渡 大介	整形外科	1,170,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	馬渡 正明	整形外科	100,000	①補 委 厚生労働科学研究費補助金
尿道下裂動物モデルを用いた尿道狭窄抑制デバイスの効果およびその作用機序の解明解析	東武 昇平	泌尿器科	910,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
腎癌細胞と腫瘍微小環境の相互作用とその分子メカニズムの解明	永瀬 圭	泌尿器科	1,300,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
糖尿病患者の足根管症候群に対する脛骨神経除圧に関する研究(大切断回避の予防戦略)	上村 哲司	形成外科	650,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
エピゲノム修飾因子NSD1変異によるDNAメチル化と遺伝子発現異常メカニズム解明	渡邊 英孝	形成外科	1,430,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
婦人科腫瘍の鑑別におけるMRIのRadiomics解析の有用性の検討	中園 貴彦	放射線科	1,560,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
MRIによる癌微小環境をもとにした乳癌サブタイプ分類の診断基準の確立	山口 健	放射線科	1,300,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
頸部放射線誘発線維症の定量的評価—新たな線量制約の確立と臨床応用	大石 光寿	放射線科	4,160,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
せん妄群と非せん妄群における血中の単球から誘導したマイクログリア様細胞の動態比較	村川 徹	精神神経科	1,912,579	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
反復性経頭蓋磁気刺激による治療抵抗性うつ病の治療メカニズムの探索	立石 洋	精神神経科	1,430,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
オキシトシンの治療応用を目指した慢性痛の心理社会的要因と生化学的指標との関連研究	松島 淳	精神神経科	1,820,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
コロナ禍の心理ストレスが高齢者の2年後のうつ状態、認知機能低下に与える影響	國武 裕	精神神経科	260,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
高齢者うつ病および認知症における脳内マイクログリアの機能の共通点と相違点	溝口 義人	精神神経科	1,690,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
腸内細菌叢からのアプローチ「ピロリ菌と自閉症スペクトラム症」の相関関係の解明	垣内 俊彦	小児科	1,170,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
小児有熱性けいれん重積のなかでのけいれん重積型急性脳症発症予測	一ノ瀬 文男	小児科	780,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金

小計 16 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
子どもの視空間注意の神経基盤の解明～縦断的コホート研究～	實藤 雅文	小児科	1,040,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者QOLを向上する全国研究	松尾 宗明	小児科	200,000	①補 委 厚生労働科学研究費補助金
神経皮膚症候群におけるアンメットニーズを満たす多診療科連携診療体制の確立	松尾 宗明	小児科	1,000,000	①補 委 厚生労働科学研究費補助金
生命維持装置管理患者に対するAIを活用した急変時対応システムの開発と効果の検証	坂口 嘉郎	麻酔科蘇生科	390,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
末梢性神経障害性疼痛患者におけるサイトカインの関与一治療効果との関連一	平川 奈緒美	麻酔科蘇生科	3,120,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	平川 奈緒美	麻酔科蘇生科	400,000	①補 委 厚生労働行政推進調査事業費補助金
子宮頸部円錐切除後の頸管狭窄を予防する新たな治療法の開発	橋口 真理子	産科婦人科	1,560,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
あらたな高解像度光干渉断層計(OCT)の開発による後眼部精密画像診断の可能性探索	江内田 寛	眼科	1,040,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
頭頸部癌に対する免疫療法の効果改善のための免疫原性細胞死の研究	山内 盛泰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
喉頭癌組織における樹状細胞の役割と臨床的意義の解明	峯崎 晃充	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
大気圧プラズマによる抗腫瘍効果と免疫賦活化を利用した新規口腔がん治療法の開発	山下 佳雄	歯科口腔外科	1,300,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
間葉系幹細胞の細胞・分泌因子を応用した新規口腔がん治療法の開発研究	合島 怜央奈	歯科口腔外科	1,300,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
胆嚢癌におけるCD1a陽性樹状細胞の免疫応答メカニズムと直接相互作用機序の解明	甲斐 敬太	病理診断科	780,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
肝内胆管癌のサブタイプ別にみる分子異常と免疫微小環境の包括的研究	相島 慎一	病理診断科	1,560,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
マルチプレックスRT-PCR法による成人T細胞白血病の病期進展リスク評価法の開発	中村 秀明	輸血部	1,560,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
外傷患者のせん妄予測モデル構築と長期認知機能解明	松岡 綾華	高度救命救急センター	910,000	①補 委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金

小計 16 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
重症外傷患者に対する大量輸血療法に伴う補体活性化と輸血副反応への影響	小網 博之	高度救命救急センター	260,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
DPCデータと看護必要度を統合した次世代AIシステムによる看護支援手法の評価	阪本 雄一郎	高度救命救急センター	1,170,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
寝たきり度を用いた院内転倒予測モデルの多様な医療機関での検証と実用化に関する研究	多胡 雅毅	総合診療部	7,930,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
グルココルチコイド代謝酵素を標的とした疫学的手法による糖尿病の合併症予防戦略	島ノ江 千里	薬剤部	1,820,000	①補委 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究費補助金
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究	高橋 宏和	肝疾患センター	1,000,000	①補委 厚生労働科学研究費補助金
非ウイルス性を含めた肝疾患のトータルケアに資する人材育成等に関する研究	高橋 宏和	肝疾患センター	4,000,000	①補委 厚生労働行政推進調査事業費補助金
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究	磯田 広史	肝疾患センター	500,000	①補委 厚生労働科学研究費補助金
オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防戦略の確立に資する研究	磯田 広史	肝疾患センター	400,000	①補委 厚生労働行政推進調査事業費補助金
ネットワーク社会における地域の特性に応じた肝疾患診療連携体制構築に資する研究	磯田 広史	肝疾患センター	1,000,000	①補委 厚生労働科学研究費補助金
ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究	磯田 広史	肝疾患センター	700,000	①補委 厚生労働行政推進調査事業費補助金

小計 10 件

合計72件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Maruyama A, Kokuzawa A, Yamauchi Y 他	膠原病・リウマチ内科	Usefulness of the severity classification for predicting drug-free remission in Japanese patients with adult-onset Still's disease	Mod Rheumatol, 32(5)953-959, 10.1093/mr/roab083, 202208	Original Article
2	Tashiro H, Takahashi K, Kurihara Y 他	呼吸器内科	Obesity affects pulmonary function in Japanese adult patients with asthma, but not those without asthma.	Sci Rep, 12(1)16457, 10.1038/s41598-022- 20924-y、202209	Original Article
3	Kurihara Y, Tashiro H, Takahashi K 他	呼吸器内科	Factors related to the diagnosis of lung cancer by transbronchial biopsy with endobronchial ultrasonography and a guide sheath.	Thorac Cancer, 13(24)3459-3466, 10.1111/1759- 7714.14705、202212	Original Article
4	Ogusu S, Ariyasu R, Akita T 他	呼吸器内科	EGFR-TKI re-administration after osimertinib failure in T790M mutation loss cases with re-biopsy	Invest New Drugs, 40(6)1342-1349, 10.1007/s10637-022- 01301-y、202212	Original Article
5	Sato A,Nakamura T,Nakashima C 他	呼吸器内科	Absence of copy number gain of EGFR: A possible predictive marker of long-term response to afatinib	Cancer Sci. 114(3):1045- 1055、202303	Original Article
6	Ikeda S, Tsutsumi M, Fujita M 他	脳神経内科	Intracranial Myeloid Sarcoma Mimicking Hypertensive Intracerebral Hemorrhage	Intern Med, doi: 10.2169/internalmedicine. 9774-22、202302	Case report
7	Ide T, Kawanami T, Eriguchi M 他	脳神経内科	SARS-CoV-2-related Myelin Oligodendrocyte Glycoprotein Antibody-associated Disease: A Case Report and Literature Review	Intern Med, 61(8)1253- 1258, doi: 10.2169/internalmedicine. 8709-21、202204	Review
8	Ikeda S, Saito S, Hosoki S 他	脳神経内科	Harboring Cnm-expressing Streptococcus mutans in the oral cavity relates to both deep and lobar cerebral microbleeds	Eur J Neurol. 2023 Jan 27. doi: 10.1111/ene.15720、 202301	Original Article
9	Ikeda S, Yakushiji Y, Tanaka J 他	脳神経内科	Hypertension, cerebral Amyloid, aGe Associated Known neuroimaging markers of cerebral small vessel disease Undertaken with stroke REgistry (HAGAKURE) prospective cohort study: Baseline characteristics and association of cerebral small vessel disease with prognosis in an ischemic stroke cohort	Front Aging Neurosci. 2023 Mar 2;15:1117851., 202303	Original Article

小計9件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
10	Sonoda S, Hibi K, Okura H 他	心血管不全治療学講座	Current clinical use of intravascular ultrasound imaging to guide percutaneous coronary interventions (update)	Cardiovasc Interv Ther. 2023 Jan;38(1):1-7. doi: 10.1007/s12928-022- 00892-w. Epub 2022 Sep 19., 202301	Review
11	Tanaka A, Node K	循環器内科	What More Can Be Delivered to Future Patients with Coronary Syndromes?	J Clin Med, 11(19)5704, doi: 10.3390/jcm11195704、 202209	Review
12	Tanaka A, Node K	循環器内科	Collective Knowledge Used to Unveil Cardiovascular Injury Emerged during COVID-19	Int J Mol Sci, 23(9)5178, doi: 10.3390/ijms23095178、 202205	Review
13	Tanaka A, Node K	循環器内科	Pathogenic connection between hypertension and type 2 diabetes: how do they mutually affect each other?	Hypertens Res, 45(11)1840-1842, doi: 10.1038/s41440-022- 01014-y, 202211	Review
14	Tanaka A, Node K	循環器内科	Xanthine oxidase inhibition for cardiovascular disease prevention	Lancet, 400(10359)1172- 1173, doi: 10.1016/S0140- 6736(22)01778-0, 202210	Review
15	Tanaka A, Node K	循環器内科	Revisited Metformin Therapy in Heart Failure With Preserved Ejection Fraction	JACC Heart Fail, 10(5)365-366, doi: 10.1016/j.jchf.2022.02.012 、202205	Letter
16	Tanaka A, Node K	循環器内科	So-far overlooked HFpEF patients with normal natriuretic peptide level need more evidence	ESC Heart Fail, 9(5)3659- 3660, doi: 10.1002/ehf2.14047、 202210	Letter
17	Tanaka A, Imai T, Shimabukuro M 他	循環器内科	Association between serum insulin levels and heart failure-related parameters in patients with type 2 diabetes and heart failure treated with canagliflozin: a post-hoc analysis of the randomized CANDLE trial	Cardiovasc Diabetol, 21(1)151, doi: 10.1186/s12933-022- 01589-3, 202208	Original Article
18	Tanaka A, Toyoda S, Kato T 他	循環器内科	Association between serum urate level and carotid atherosclerosis: an insight from a post hoc analysis of the PRIZE randomised clinical trial	RMD Open, 8(1)e002226, doi: 10.1136/rmdopen- 2022-002226, 202204	Original Article
19	Tanaka A, Imai T, Shimabukuro M 他	循環器内科	Effect of canagliflozin on white blood cell counts in patients with type 2 diabetes and heart failure: A subanalysis of the randomized CANDLE trial	J Diabetes Investig, 13(12)1990-1999, doi: 10.1111/jdi.13899、 202212	Original Article

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
20	Tanaka A, Node K	循環器内科	Need for more evidence of safety in the pharmacological therapy of anemia in chronic kidney disease: a cardiovascular perspective	Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother, 8(5)e27-e28, doi: 10.1093/ehjcvp/pvac033、202208	Original Article
21	Tanaka A, Imai T, Suzuki M 他	循環器内科	Mediators of the effects of canagliflozin on N-terminal pro-brain natriuretic peptide concentration: An exploratory mediation analysis of the randomized CANDLE trial	Diabetes Obes Metab, 24(5)962-965, doi: 10.1111/dom.14656、202205	Original Article
22	Tanaka A, Sata M, Okada Y 他	循環器内科	Effect of ipragliflozin on carotid intima-media thickness in patients with type 2 diabetes: a multicenter, randomized, controlled trial	Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother. 2023 Feb 2;9(2):165-172. doi: 10.1093/ehjcvp/pvac059、202302	Original Article
23	Tanaka A, Teragawa H, Takamura T 他	循環器内科	Effect of add-on empagliflozin on arterial stiffness in patients with type 2 diabetes and cardiovascular disease: an analysis from the placebo-controlled EMBLEM trial	Vasc Fail, 6(1)1-7, 10.30548/vascfail.6.1_1、202212	Original Article
24	Tanaka A, Sawami K, Node K.	循環器内科	How to Measure DELIVERed Benefits of Dapagliflozin in the Management of HFmrEF/HFpEF?	JACC Heart Fail. 2023 Feb;11(2):261. doi: 10.1016/j.jchf.2022.11.027、202302	Letter
25	Natsuaki M, Sonoda S, Yoshioka G 他	循環器内科	Antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention: current status and future perspectives	Cardiovasc Interv Ther, 37(2)255-263, doi: 10.1007/s12928-022-00847-1、202204	Review
26	Natsuaki M, Kimura T	循環器内科	Antiplatelet Therapy After Percutaneous Coronary Intervention - Past, Current and Future Perspectives	Circ J, 86(5)741-747, 10.1253/circj.CJ-21-0751、202204	Review
27	Natsuaki M, Morimoto T, Shiomi H 他	循環器内科	Bleeding Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention in the Past Two Decades in Japan - From the CREDO-Kyoto Registry Cohort-2 and Cohort-3	Circ J, 86(5)748-759, 10.1253/circj.CJ-21-0526、202204	Original Article
28	Natsuaki M, Morimoto T, Iimuro S 他	循環器内科	Thrombotic Risk Stratification and Intensive Statin Therapy for Secondary Prevention of Coronary Artery Disease - Insights From the REAL-CAD Study	Circ J, 86(9)1416-1427, 10.1253/circj.CJ-22-0315、202208	Original Article
29	Natsuaki M, Node K.	循環器内科	De-Escalation Therapy After PCI in ACS Patients With Chronic Kidney Disease	JACC Asia. 2023 Jan 10;3(1):62-64. doi: 10.1016/j.jacasi.2022.10.010. eCollection 2023 Feb.、202301	Review

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
30	Yoshioka G, Tanaka A, Watanabe N 他	循環器内科	Prognostic impact of incident left ventricular systolic dysfunction after myocardial infarction	Front Cardiovasc Med, Vol.9, 1009691, doi: 10.3389/fcvm.2022.1009691、202209	Original Article
31	Yoshioka G, Sonoda S, Aishima S 他	循環器内科	Multimodality Imaging Approach for a Left Ventricular Aneurysm in a Patient With Myocardial Infarction and Non-Obstructive Coronary Arteries	Circ J, 86(10)1586, doi: 10.1253/circj.CJ-21-1080、202209	Original Article
32	Fukuda M, Miyazono M, Ubara Y	腎臓内科	Perirenal Abscess in a Patient with Rheumatoid Arthritis	Intern Med, 61(22)3463, doi: 10.2169/internalmedicine.9060-21、202211	Case report
33	Naruse N, Miyahara K, Sakata Y 他	消化器内科	Utility and safety of the self-expandable metallic colonic stent in Japanese patients who received systemic chemotherapy or palliative treatment for obstructive primary advanced colorectal cancer: A retrospective single-center medical chart evaluation	JGH Open, 6(5)324-329, 10.1002/jgh3.12744、202204	Original Article
34	Takedomi H, Sakata Y, Tomonaga M 他	消化器内科	Collagenous Colitis Possibly Associated with Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitor	Intern Med, 61(18)2731-2734, 10.2169/internalmedicine.9040-21、202209	Case report
35	Esaki M, Saruta M	消化器内科	Recent topics in the pathophysiology and medical management of inflammatory bowel disease	Digestion 104(1):5-6、202209	Review
36	Esaki M, Ihara Y, Tominaga N 他	消化器内科	Predictive factors of the clinical efficacy of ustekinumab in patients with refractory Crohn's disease: tertiary centers experience in Japan	Int J Colorectal Dis 38(1):57、202303	Original Article
37	Shimoda R, Akutagawa T, Tomonaga M 他	光学医療診療部	Estimating colorectal polyp size with a virtual scale endoscope and visual estimation during colonoscopy: Prospective, preliminary comparison of accuracy	Dig Endosc, 34(7)1471-1477, doi: 10.1111/den.14351、202211	Original Article
38	Tomiga Y, Higaki Y, Anzai K 他	肝臓・糖尿病・内分泌内科	Behavioral defects and downregulation of hippocampal BDNF and nNOS expression in db/db mice did not improved by chronic TGF- $\beta$ 2 treatment	Front Physiol, Vol.13, 969480, doi: 10.3389/fphys.2022.969480、202208	Original Article
39	Mine K, Xin Tun, Hatano S 他	肝臓・糖尿病・内分泌内科	Dermal V $\gamma$ 6+ $\gamma$ $\delta$ T17 Cells are Involved in Skin Pressure Ulcers in Mice	J Invest Dermatol, 142(8)2294-2297.e5, doi: 10.1016/j.jid.2021.12.030、202208	Original Article

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
40	Ide T, Uchikawa K, Noshiro H	一般・消化器外科	Laparoscopic distal pancreatectomy for hemossuccus pancreaticus due to an intraductal papillary mucinous neoplasm	Asian J Endosc Surg, doi: 10.1111/ases.13148、202211	Case report
41	Ide T, Ito K, Tanaka T 他	一般・消化器外科	The short-term outcomes of laparoscopic right anterior sectionectomy: A comparison with the open procedure	Asian J Surg, 45(10)2129-2130, doi: 10.1016/j.asjsur.2022.04.132、202210	Original Article
42	Noshiro H, Okuyama K, Kajiwara S 他	一般・消化器外科	Initial Learning Curve and Stereotypical Use of Extra Arm During da Vinci Chest Procedures of McKeown Esophagectomy	Innovations (Phila), 17(4)324-332, doi: 10.1177/15569845221115237、202208	Original Article
43	Noshiro H, Okuyama K, Yoda Y	一般・消化器外科	Disturbed passage of jejunal limb near esophageal hiatus after overlapped esophagojejunostomy following laparoscopic total gastrectomy	World J Gastrointest Surg, 14(11)1285-1296, doi: 10.4240/wjgs.v14.i11.1285、202211	Original Article
44	Fujimoto T, Manabe T, Yukimoto K 他	一般・消化器外科	Risk Factors for Postoperative Paralytic Ileus in Advanced-age Patients after Laparoscopic Colorectal Surgery: A Retrospective Study of 124 Consecutive Patients	J Anus, Rectum and Colon 2023;7(1)30-37 dx.doi.org/10.23922/jarc.2022-044、202301	Original Article
45	Oka R, Inoue T, Hashimoto A 他	皮膚科	Improvement of ixekizumab-related interstitial pneumonia following its discontinuation in a patient with psoriatic arthritis	Eur J Dermatol, 32(2)281-282, 10.1684/ejd.2022.4251、202204	Letter
46	Takahashi B, Kamohara K, Amamoto S 他	心臓血管外科	Impact of after-hours surgery on outcomes of acute type A aortic dissection repair	Surg Today, 52(10)1453-1462, doi: 10.1007/s00595-022-02487-7、202210	Review
47	Takahashi B, Kamohara K	心臓血管外科	A useful exercise test for detecting leg malperfusion due to aortic dissection	Journal of cardiology cases, 25(4):247-249 doi:10.1007/s00595-022-02487-7、202204	Case report
48	Nakahara Y, Ito H, Namikawa H 他	脳神経外科	A Tumor Suppressor Gene, N-myc Downstream-Regulated Gene 1 (NDRG1), in Gliomas and Glioblastomas	Brain Sci, 12(4)473, doi: 10.3390/brainsci12040473、202204	Review
49	Masuoka J, Yoshioka F, Furukawa T 他	脳神経外科	Microsurgical Approach for True Posterior Communicating Artery Aneurysms: Literature Review and Illustrative Case	Asian J Neurosurg, 17(2)156-164, doi: 10.1055/s-0042-1750840、202208	Review

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
50	Masuoka J, Yoshioka F, Ito H 他	脳神経外科	Cervical Cord Compression by Aberrant Vertebral Artery Presenting with Neuralgic Pain: A Case Report	NMC Case Rep J, Vol.9, 313-317, doi: 10.2176/jns-nmc.2022-0189、202209	Case report
51	Kobayashi T, Morimoto T, Yoshihara T 他	整形外科	The significant relationship among the factors of pelvic incidence, standing lumbar lordosis, and lumbar flexibility in Japanese patients with hip osteoarthritis: A descriptive radiographic study	Orthop Traumatol Surg Res, 108(2)103123, doi: 10.1016/j.otsr.2021.103123、202204	Original Article
52	Kobayashi T, Morimoto T, Ono R 他	整形外科	Is grip strength useful in screening to predict the severity of locomotive syndrome?	J Orthop Sci, doi: 10.1016/j.jjos.2022.03.011、202204	Original Article
53	Kobayashi T, Morimoto T, Otani K	整形外科	Comment on Yamada et al.: Reference values for the locomotive syndrome risk test quantifying mobility of 8681 adults aged 20-89 years: A cross-sectional nationwide study in Japan	J Orthop Sci, 27(5)1164-1165, 10.1016/j.jjos.2021.08.023、202209	Original Article
54	Kobayashi T, Morimoto T, Shimano C 他	整形外科	Development of a tool for screening the severity of locomotive syndrome by the loco-check	J Orthop Sci, 27(3)701-706, doi: 10.1016/j.jjos.2021.03.011、202205	Original Article
55	Kobayashi T, Morimoto T, Shimano C 他	整形外科	Development of a simple screening tool based on the 5-question geriatric locomotive function scale for locomotive syndrome	J Orthop Sci, 27(4)913-920, doi: 10.1016/j.jjos.2021.05.001、202207	Original Article
56	Kobayashi T, Akiyama T, Mawatari M	整形外科	Predictors of preoperative deep vein thrombosis in hip fracture: A systematic review and meta-analysis.	J Orthop Sci. 2023 Jan;28(1):222-232. doi: 10.1016/j.jjos.2021.08.013、202301	Original Article
57	Kobayashi T, Akiyama T, Morimoto T 他	整形外科	A systematic review regarding clinical characteristics, complications, and outcomes of surgical and non-surgical patients with fragility fracture of the pelvis	Nagoya J Med Sci. 2023 Feb;85(1):35-49. doi: 10.18999、202302	Original Article
58	Kobayashi T, Morimoto T, Shimano C 他	整形外科	The association of comorbidities with the 25-question geriatric locomotive function scale and the diagnosis of locomotive syndrome	J Orthop Sci. 2023 Mar;28(2):453-459. doi: 10.1016/j.jjos.2021.11.021、202303	Original Article
59	Kobayashi T, Morimoto T, Shimano C 他	整形外科	Risk factors for progression of the severity of locomotive syndrome: A two-year longitudinal observational study	J Orthop Sci. 2023 Mar 7:S0949-2658(23)00027-1. doi: 10.1016/j.jjos.2023.02.008. Online ahead of print.、202303	Original Article

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
60	Sonohata M, Wada S, Koretaka Y 他	整形外科	A Survey of the Incidence of Constipation in Patients with Chronic Non-cancer Paing Using Opioid Analgesics in Japan	Pain Ther, 11(3)845-859, doi: 10.1007/s40122-022-00392-y、202209	Original Article
61	Takashima S, Morimoto T, Hirata H 他	整形外科	Letter to the Editor: Evaluating the Reproducibility of the Walking Test for Intermittent Claudication Associated with Lumbar Spinal Stenosis	Asian Spine J, 16(4)611-612, doi: 10.31616/asj.2022.0290.r1、202208	Original Article
62	Tsukamoto M, Morimoto T, Kobayashi T 他	整形外科	The relationship between traction spurs, Modic change, vacuum phenomenon, and segmental instability of the lumbar spine	Sci Rep, 12(1)9939, doi: 10.1038/s41598-022-14244-4、202206	Original Article
63	Tsukamoto M, Morimoto T, Hirata H 他	整形外科	Methotrexate-Associated Lymphoproliferative Disease of the ThoracicSpine Misdiagnosed as Metastatic Spinal Tumor:A Case Report	Cureus, 14(8)e27692, doi: 10.7759/cureus.27692、202208	Case report
64	Tsukamoto M, Morimoto T, Yamaguchi Y 他	整形外科	Letter to the Editor Concerning “Trabecular Bone Remodeling as a New Indicator of Osteointegration after Posterior Lumbar Interbody Fusion.” by Segi et al	Global Spine J. 2023 Jan 19:21925682231152239. doi: 10.1177/21925682231152239.、202301	Letter
65	Hirata H, Kamohara A, Murayama M 他	整形外科	A novel role of helix-loop-helix-loop-helix transcriptional factor Bhlhe40 in osteoclast activation	J Cell Physiol, 237(10)3912-3926, doi: 10.1002/jcp.30844、202210	Original Article
66	Hirata H, Morimoto T, Tsukamoto M 他	整形外科	Letter to the Editor. Odontoid fractures using posterior C1-2 fixation without fusion	J Neurosurg Spine, 38(2)294, doi: 10.3171/2022.8.SPINE22872、202210	Letter
67	Morimoto T, Hirata H, Ueno M 他	整形外科	Digital Transformation Will Change Medical Education and Rehabilitation in Spine Surgery	Medicina (Kaunas), 58(4)508, doi: 10.3390/medicina58040508、202204	Original Article
68	Morimoto T, Hirata H, Eto S 他	整形外科	Development of Silver-Containing Hydroxyapatite-Coated Antimicrobial Implants for Orthopaedic and Spinal Surgery	Medicina (Kaunas), 58(4)519, doi: 10.3390/medicina58040519、202204	Original Article
69	Morimoto T, Hirata H, Otani K 他	整形外科	Vertebral Osteomyelitis and Infective Endocarditis Co-Infection	J Clin Med, 11(8)2266, doi: 10.3390/jcm11082266、202204	Original Article

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
70	Morimoto T, Kobayashi T, Tsukamoto M 他	整形外科	Hip-Spine Syndrome: A Focus on the Pelvic Incidence in Hip Disorders	J Clin Med. 2023 Mar 3;12(5):2034. doi: 10.3390/jcm12052034.、202303	Original Article
71	Morimoto T, Hirata H, Kobayashi T 他	整形外科	Letter to the Editor Concerning "Novel Technique for Sacral-Alar-Iliac Screw Placement Using Three-Dimensional Patient-Specific Template Guide," by Matsukawa et al	Spine Surg Relat Res. 2023 Jan 12;7(2):197. doi: 10.22603/ssrr.2021-0246. eCollection 2023 Mar 27.、202303	Letter
72	Morimoto T, Kobayashi T, Hirata H 他	整形外科	Cardiopulmonary Cement Embolism Following Cement-Augmented Pedicle Screw Fixation: A Narrative Review	Medicina (Kaunas). 2023 Feb 19;59(2):407. doi: 10.3390、202302	Original Article
73	Yamaguchi Y, Morimoto T, Hirata H 他	整形外科	Letter to the Editor concerning "Pain Relief After Selective Nerve Root Block as a Predictor of Postoperative Functional Outcome in Patients with Degenerative Lumbar Spinal Stenosis Patients Undergoing Decompressive Surgery," by Ko et al	Spine (Phila Pa 1976). 2023 Mar 20. doi: 10.1097/BRS.00000000000004629. Online ahead of print.、202303	Letter
74	Yoshihara T, Morimoto T, Tsukamoto M 他	整形外科	Letter to the Editor Concerning "Augmented Reality Device for Preoperative Marking of Spine Surgery Can Improve the Accuracy of Level Identification," by Aoyama et al	Spine Surg Relat Res. 2022 Dec 12;7(1):116-117. doi: 10.22603/ssrr.2022-0128. eCollection 2023 Jan 27.、202301	Letter
75	Kakinoki H,Yamaguchi Y,Kakinoki Y 他	泌尿器科	Pediatric cystine stone successfully treated by mini-percutaneous nephrolithotripsy and antegrade ureteroscopy	IJU Case Reports (2023) doi: 10.1002/iju5.12570、202301	Case report
76	Tobu S, Noguchi M	泌尿器科	Long-term outcomes of Blocksom vesicostomy for elderly patients with chronic urinary retention	Int J Urol, 29(11)1357-1361, doi: 10.1111/iju.14999、202211	Original Article
77	Egashira Y, Azama S, Nojiri J 他	放射線科	Embolization of Renal Arteriovenous Malformations Using Tandem Balloon Catheters	J Vasc Interv Radiol, 33(8)1006-1008, doi: 10.1016/j.jvir.2022.04.025、202208	Original Article
78	Egashira R, Raghu G	放射線科	Quantitative computed tomography of the chest for fibrotic lung diseases: Prime time for its use in routine clinical practice?	Respirology, 27(12)1008-1011, doi: 10.1111/resp.14351、202212	Original Article
79	Egashira R, Takahashi K, Nakazono T 他	放射線科	A Case of Massive Dendriiform Ossification Showing Diffuse Interstitial Lung Disease in a Patient With a History of Intensive Occupational Dust Exposure	J Thorac Imaging, 37(6)W106-W108, 10.1097/RTI.0000000000000672、202211	Case report

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
80	Yamaguchi K, Nakazono T, Fukui S 他	放射線科	A case of congenital capillary proliferation of the kidney (CCPK)	Abdom Radiol (NY), 47(6)1961-1967, 10.1007/s00261-022- 03514-4、202206	Case report
81	Toyoko Asami	リハビリテーション科	Pursuing quality education in Physical and Rehabilitation Medicine in Japan	Front Rehabil Sci, Vol.3, 877986, 10.3389/fresc.2022.87798 6、202207	Original Article
82	Kunitake Y, Mizoguchi Y, Imamura Y 他	精神神経科	Serum oxytocin correlated with later logical memory in older Japanese women: A 7-year follow-up study	Compr Psychoneuroendocrinol, Vol.13, 100166, doi: 10.1016/j.cpne.2022.100 166、202212	Original Article
83	Tateishi H, Setoyama D, Kato T A 他	精神神経科	Changes in the metabolites of cerebrospinal fluid induced by rTMS in treatment-resistant depression: A pilot study	Psychiatry Res, Vol.313, 114636, doi: 10.1016/j.psychres.2022.1 14636、202207	Original Article
84	Tateishi H,Matsushim a J,Kunitake H 他	精神神経科	Serum soluble triggering receptor expressed on myeloid cells-2 was not altered by rTMS in patients with treatment-resistant depression	Neuropsychopharmacol Rep. 2023 Mar 12.doi: 10.1002/npr2.12332. Online ahead of print., 202303	Original Article
85	Eguchi H, Kakiuchi T, Nishi M 他	小児科	Case Report: Juvenile Myelomonocytic Leukemia Underlying Ornithine Transcarbamylase Deficiency Safely Treated Using Hematopoietic Stem Cell Transplantation	Front Pediatr, Vol.10, 898531, 10.3389/fped.2022.898531 、202205	Case report
86	Kakiuchi T, Matsuo M, Sakata Y 他	小児科	Clinical Evaluation of a Novel Stool Antigen Test Using Bioluminescent Enzyme Immunoassay for Detecting Helicobacter pylori	Can J Gastroenterol Hepatol, Vol.2022, 5571542, 10.1155/2022/5571542、 202204	Original Article
87	Kakiuchi T, Yoshiura M, Tanaka K 他	小児科	Pediatric case of Crohn's disease with preceding vulvitis granulomatosa	Clin Case Rep, 10(4)e05676, 10.1002/ccr3.5676、 202204	Case report
88	Kakiuchi T, Akutagawa T	小児科	Small intestinal hamartomatous polyp due to Peutz-Jeghers syndrome in middle childhood	Clin Case Rep, 10(6)e6001, 10.1002/ccr3.6001、 202206	Case report
89	Kakiuchi T, Yoshiura M	小児科	Vedolizumab as the first-line of biologicals for pediatric patients with ulcerative colitis	Clin Ther, 44(7)1028- 1032, 10.1016/j.clinthera.2022.0 6.004、202207	Original Article

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
90	Kakiuchi T, Minematsu N	小児科	Microvesicular Steatosis with Transient Abnormal Myelopoiesis-Associated Hepatic Fibrosis	Indian J Pediatr, 89(8)814-815, 10.1007/s12098-022- 04157-5、202208	Case report
91	Kakiuchi T, Yoshiura M	小児科	Pediatric Acute Reactive Acalculous Cholecystitis Secondary to Duodenal Ulcer	Indian J Pediatr, 89(9)916-917, 10.1007/s12098-022- 04243-8、202209	Case report
92	Kakiuchi T, Baba Y, Minematsu N 他	小児科	Progress of pulmonary hypertension and high manganese levels through congenital portosystemic shunt closure	Clin Case Rep, 10(9)e6318, 10.1002/ccr3.6318、 202209	Case report
93	Kakiuchi T, Okuda M, Matsuo M 他	小児科	Smart Gene™ as an effective non-invasive point-of-care test to detect Helicobacter pylori clarithromycin-resistant mutation	J Gastroenterol Hepatol, 37(9)1719-1725, 10.1111/jgh.15887、 202209	Original Article
94	Kakiuchi T, Furukawa R	小児科	Diagnosis of Food Protein-Induced Enteropathy Based on Gastrointestinal Mucosal Pathology before and after Elimination Diet Therapy: A Case Report	Pediatr Rep, 14(3)380- 385, 10.3390/pediatric1403004 5、202209	CaseReport
95	Kakiuchi T, Takedomi H, Akutagawa T 他	小児科	Gastrointestinal bleeding after endoscopic mucosal resection in a case of Peutz-Jeghers syndrome with hypofibrinogenemia: A case report	Front Pediatr, Vol.10, 961501, 10.3389/fped.2022.961501 、202210	Case report
96	Kakiuchi T, Zhang Y	小児科	Choice of diagnostic method for liver-type glycogen storage disease	Clin Case Rep, 10(10)e06480, 10.1002/ccr3.6480、 202210	Case report
97	Kakiuchi T, Yoshiura M	小児科	Japanese pediatric patient with refractory steroid-resistant ulcerative colitis successfully treated with Tofacitinib: A case report	Medicine (Baltimore), 101(45)e31757, 10.1097/MD.000000000000 31757、202211	Case report
98	Kakiuchi T, Sakata Y	小児科	Non-alcoholic steatohepatitis in a Japanese obese child	Postgrad Med J, 98(1166)e32, 10.1136/postgradmedj- 2020-138951、202212	Case report
99	Kakiuchi T, Yoshiura M	小児科	Commentary: "Tailored therapy for Helicobacter pylori eradication: A systematic review and meta-analysis"	Front Pharmacol, Vol.13, 1090776, doi: 10.3389/fphar.2022.10907 76、202212	Letter

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
100	Kakiuchi T	小児科	Management of Helicobacter pylori infection in paediatric patients in Europe	Infection, doi: 10.1007/s15010-022- 01969-7、202212	Letter
101	Kakiuchi T, Nakamura M, Yoshiura M 他	小児科	Kawasaki disease causing common bile duct dilatation as an infrequent complication.	Indian J Pediatr., 202301	Letter
102	Kakiuchi T	小児科	Juvenil polyp and fecal calprotectin.	J Paediatr Child Health., 202301	Letter
103	Kakiuchi T, Yoshiura M	小児科	More evidence is needed on the additional efficacy of vedolizumab as a first-line biologic therapy for inflammatory bowel disease.	Dig Liver Dis., 202302	Case report
104	Kakiuchi T, Yoshiura M	小児科	The effect of acotiamide on nausea as a symptom of chronic nausea and vomiting syndrome after coronavirus disease 2019: A case report.	Inter Med., 202303	Case report
105	Kakiuchi T, Matsuo M, Endo H 他	小児科	Efficacy and Safety of vonoprazan-based regimen for Helicobacter pylori eradication therapy in Japanese adolescents: A prospective multicenter study.	J Gastroenterol. , 202303	Original Article
106	Kakiuchi T, Yoshiura M	小児科	Effectiveness of leucine-rich alpha-2 glycoprotein for pediatric patient with Crohn's disease	Indian J Pediatr., 202303	Case report
107	Kakiuchi T	小児科	A true point-of-care molecular testing method for tailored therapy for Helicobacter pylori eradication	Expert Rev Gastroenterol Hepatol., 202303	Letter
108	Kakiuchi T, Noshio T	小児科	Advantages of fluoroscopy for accidental ingestion of multiple magnets	Case Rep Pediatr., 202303	Case report
109	Kakiuchi T, Yoshiura M	小児科	Juvenile polyp presenting as prolapsed mass per rectum in a 5yr old child.	Clin Case Rep., 202303	Case report

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
110	Nakamura T, Uda K, Matsuo M 他	小児科	Two cases of childhood absence epilepsy who showed seizure disappearance after ethosuximide drug eruption	Acta Epileptologica Vol.4, 36, 10.1186/s42494-022- 00108-x、202212	Case report
111	Danjo A, Aijima R, Yoshimoto RU 他	歯科口腔外科	An ultrasonic osteotomy device enhanced post-osteotomy bone healing beyond that with a conventional rotary device in a rat calvarial model	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol, 34(3)243- 251, 10.1016/j.ajoms.2021.10.0 02、202205	Original Article
112	Fujimoto R, Murata D, Nakayama K	歯科口腔外科	Bio-3D printing of scaffold-free osteogenic and chondrogenic constructs using rat adipose-derived stromal cells.	Frontiers in Bioscience- Landmark. 27, 052、2022	Original Article
113	Shinada K, Miike T, Matsuoka A 他	救急科	Coagulation Influencing Liberation from Respiratory Support in Patients with Coronavirus Disease 2019: A Retrospective, Observational Study	J Nippon Med Sch, 89(5)479-486, 10.1272/jnms.JNMS.2022_ 89-506、202211	Original Article
114	Matsuoka A, Koami H, Shinada K 他	救急科	Investigation of predictors of bleeding complications in COVID-19 using rotational thromboelastometry (ROTEM®): A retrospective study	Health Sci Rep, 5(3)e655, 10.1002/hsr.2.655、202205	Original Article
115	Matsuoka A, Koami H, Goto T 他	救急科	Gastrointestinal Perforation Complicated by Continuous Opioids Administration for Intrahepatic Cystic Hemorrhage Pain Management	Cureus, 14(8)e27829, 10.7759/cureus.27829、 202208	Case report
116	Matsuoka A, Miike T, Yamazaki H 他	救急科	Usefulness of a medical interview support application for residents: A pilot study	PLoS One, 17(9)e0274159, 10.1371/journal.pone.0274 159、202209	Original Article
117	Matsuoka A, Tobita S, Sogawa R 他	救急科	Evaluation of Suvorexant and Lemborexant for the Prevention of Delirium in Adult Critically Ill Patients at an Advanced Critical Care Center: A Single-Center, Retrospective, Observational Study	J Clin Psychiatry, 84(1)22m14471, 10.4088/JCP.22m14471、 202211	Original Article
118	Matsuoka A, Koami H, Shinada K 他	救急科	Investigation of differences in coagulation characteristics between hospitalized patients with SARS-CoV-2 Alpha, Delta, and Omicron variant infection using rotational thromboelastometry (ROTEM): A single-center, retrospective, observational study	J Clin Lab Anal, 36(12)e24796, 10.1002/jcla.24796、 202212	Original Article
119	Shimada H, Tago M	総合診療部	Prostate cancer dural metastasis resembling a meningioma	Clin Case Rep, 10(4)e05601, doi: 10.1002/ccr3.5601、 202204	Original Article

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
120	Tago M, Katsuki NE, Nakatani E 他	総合診療部	External validation of a new predictive model for falls among inpatients using the official Japanese ADL scale, Bedriddenness ranks: a double-centered prospective cohort study	BMC Geriatr, 22(1)331, doi: 10.1186/s12877-022- 02871-5、202204	Original Article
121	Tago M, Shikino K, Hirata R 他	総合診療部	General Medicine Departments of Japanese Universities Contribute to Medical Education in Clinical Settings: A Descriptive Questionnaire Study	Int J Gen Med, Vol.15, 5785-5793, doi: 10.2147/IJGM.S366411、 202206	Original Article
122	Tago M, Hirata R, Watari T 他	総合診療部	Future Research in General Medicine Has Diverse Topics and is Highly Promising: Opinions Based on a Questionnaire Survey	Int J Gen Med, Vol.15,6381-6386, doi: 10.2147/IJGM.S369856、 202208	Original Article
123	Tago M, Hirata R, Katsuki NE 他	総合診療部	Criterion-related validity of Bedriddenness Rank with other established objective scales of ADLs, and Cognitive Function Score with those of cognitive impairment, both are easy-to-use official Japanese scales: A prospective observational study	PLoS One, 17(11)e0277540, doi: 10.1371/journal.pone.0277 540、202211	Original Article
124	Tago M, Hirata R	総合診療部	Membranous desquamation of the hand in a 7-year-old boy with mild COVID-19	Clin Case Rep, 10(12)e6651, doi: 10.1002/ccr3.6651、 202212	Case report
125	Tago M, Hirata R, Shikino K 他	総合診療部	Clinical Clerkships in General Medicine Enable Students to Acquire Basic Medical Competencies and Experience in Community-Based Integrated Care: A Descriptive Questionnaire-Based Study	Cureus, 15(3): e36495、 202303	Original Article
126	Hirata R, Tago M, Makio S 他	総合診療部	Allergic bronchopulmonary mycosis characterized by chest pain and high-attenuation mucus on computed tomography	Clin Case Rep, 10(7)e6030, doi: 10.1002/ccr3.6030、 202207	Case report
127	Hirata R, Tago M, Tago M	総合診療部	Multiple rib fractures confused with loss of lung volume on chest X-ray	Clin Case Rep, 10(8)e6179, doi: 10.1002/ccr3.6179、 202208	Case report
128	Hirata R, Tago M, Aihara H	総合診療部	Massive anorectal abscess caused by rectal cancer	Clin Case Rep, 10(10)e06388, doi: 10.1002/ccr3.6388、 202210	Case report
129	Hirata R, Tago M, Katsuki NE 他	総合診療部	History of Falls and Bedriddenness Ranks are Useful Predictive Factors for in-Hospital Falls: A Single-Center Retrospective Observational Study Using the Saga Fall Risk Model	Int J Gen Med, Vol.15, 8121-8131, doi: 10.2147/IJGM.S385168、 202211	Original Article

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
130	Hirata R, Tago M, Nakashima T 他	総合診療部	A floating mural thrombus in the ascending aorta can cause multiorgan infarction	BMJ Case Rep, 15(11)e250147, doi: 10.1136/bcr-2022- 250147、202211	Case report
131	Fujiwara M, Tago M, Hirata R 他	総合診療部	A Prospective Observational Study Conducted at a Single Center in Japan to Validate a Previously Developed Predictive Formula of In-Hospital Mortality for Patients Aged $\geq 65$ Years with Endogenous Diseases Transported by Ambulance	Med Sci Monit, Vol.28, e938385, doi: 10.12659/MSM.938385、 202211	Original Article
132	Yamashita S, Tago M, Nishi TM 他	総合診療部	Unilateral syphilitic optic neuritis without meningitis or uveitis	Clin Case Rep, 10(4)e05678, doi: 10.1002/ccr3.5678、 202204	Case report
133	Yamashita S, Tago M, Tokushima Y 他	総合診療部	An Infected Massive Persistent Sciatic Artery Aneurysm Treated by an Aneurysmal Incision and Drainage after Angiographic Embolization	Intern Med, 61(9)1447- 1452, doi: 10.2169/internalmedicine. 7928-21、202205	Original Article
134	Yamashita S, Nagano H, Harada T 他	総合診療部	Increasing the Status of Hospital General Medicine Departments with Emphasis on Outpatient Care in Japan	Int J Gen Med, Vol.15, 6599-6602, doi: 10.2147/IJGM.S368021、 202208	Original Article
135	Yamashita S, Tago M, Tokushima M 他	総合診療部	Willingness to Select Initial Clinical Training Hospitals Among Medical Students at a Rural University in Japan: A Single-Center Cross-Sectional Study	Adv Med Educ Pract, Vol.13,1081-1089, doi: 10.2147/AMEP.S374852、 202209	Original Article
136	Kai K, Tobu S, Kido S, Mikami S 他	病理診断科	ALK rearrangement-associated renal cell carcinoma morphologically mimicking mucinous tubular and spindle cell carcinoma: a case report.	Diagn Pathol, 17(1)52, doi: 10.1186/s13000-022- 01238-z、202206	Case report
137	Kai K, Ide T, Tanaka T 他	病理診断科	A Case of Multicystic Biliary Hamartoma with a Marked Peribiliary Gland Component Successfully Treated by Purely Laparoscopic Anatomical Liver Resection.	J Gastrointest Cancer. 、 202211	Case report
138	Kitamura S, Kai K, Nakamura M 他	病理診断科	Cytological Comparison between Hepatocellular Carcinoma and Intrahepatic Cholangiocarcinoma by Image Analysis Software Using Touch Smear Samples of Surgically Resected Specimens	Cancers (Basel), 14(9)2301, 10.3390/cancers1409230 1、202205	Original Article
139	Nakamura H, Sekine H, Kato H 他	検査部	Hypoxia-inducible factor-1 $\alpha$ and poly [ADP ribose] polymerase 1 cooperatively regulate Notch3 expression under hypoxia via a noncanonical mechanism	J Biol Chem, 298(7)102137, doi: 10.1016/j.jbc.2022.102137 、202207	Original Article

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
140	Aoki Y	感染制御部	COVID-19 fundamentals : What determines how it spreads?	J Med Engl Edu, 21(3)135-137、202210	Others
141	Kannae M, Oka Y, Hamada Y 他	感染制御部	On-Site Gram Staining That Increases a Post-Test Probability of an Ominous Infection: a Case of Necrotizing Fasciitis Caused by <i>Vivrio Vulnificus</i> : a Case Report	J Med Case Rep. Vo.17, No.9, pp.1-4、202301	Case report
142	Kubo T, Sogawa R, Tsuruhashi S 他	薬剤部	Risk of delirium with antiepileptic drug use: a study based on the Japanese Adverse Drug Event Report database	Int J Clin Pharm. Mar 28. doi: 10.1007/s11096-023-01564-2. Online ahead of print., 202303	Original Article
143	Shimano C, Sogawa R	薬剤部	Authors' response: Sex- and age-specific all-cause mortality in insomnia with hypnotics	Sleep Med, 101:233, doi: 10.1016/j.sleep.2022.11.005., 202301	Others
144	Sogawa R, Shimano C, Tanaka K 他	薬剤部	Sex- and age-specific all-cause mortality in insomnia with hypnotics: Findings from Japan multi-institutional Collaborative Cohort Study	Sleep Med, Vol.100, 410-418, doi: 10.1016/j.sleep.2022.09.020, 202212	Original Article
145	Sogawa R, Matsuoka A, Murakawa-Hirachi T 他	薬剤部	Effects of anti-ulcer drugs on delirium in trauma patients	Gen Hosp Psychiatry, 80:43-47, doi: 10.1016/j.genhosppsych.2022.12.007., 202301	Original Article
146	Takeuchi K, Sogawa R, Tsuruhashi S 他	薬剤部	Antihypertensive Drug Combinations Modify Cisplatin-induced Acute Kidney Injury	In Vivo, 36(3)1391-1396, doi: 10.21873/invivo.12843, 202205	Original Article
147	Tokushima Y, Tago M, Tokushima M 他	地域医療支援センター	Hands-on Clinical Clerkship at the Department of General Medicine in a University Hospital Improves Medical Students' Self-Evaluation of Skills of Performing Physical Examinations and Informed Consent: A Questionnaire-Based Prospective Study	Int J Gen Med, Vol.15, 8647-8657, doi: 10.2147/IJGM.S388798, 202212	Original Article
148	Takahashi H, Nakajima A, Matsumoto Y 他	肝疾患センター	Administration of Jerusalem artichoke reduces the postprandial plasma glucose and glucose-dependent insulinotropic polypeptide (GIP) concentrations in humans	Food Nutr Res, Vol.66, 10.29219/fnr.v66.7870, 202204	Original Article
149	Takahashi H, Anzai K	肝疾患センター	Reply to the Letter to the editor "Ipragliflozin improves the hepatic outcomes of patients with diabetes with NAFLD"	Hepatol Commun 6(9)2607, doi: 10.1002/hep4.1996, 202209	Letter

小計10件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
150	Shiraki A, Oyama JI, Shimizu T 他	医工循環器学講座	Empagliflozin improves cardiac mitochondrial function and survival through energy regulation in a murine model of heart failure	Eur J Pharmacol, Vol.931, 175194, doi: 10.1016/j.ejphar.2022.175194, 202209	Original Article
151	Kawano S, Ueno M, Fujii M 他	人工関節学講座	Caswe Series of Silver Oxide-Containing Hydroxyapatite Coating in Antibacterial Cementless Total Hip Arthroplasty: Clinical Results of 50 Cases at 5-Year Follow-Up	Arthroplast Today, Vol.19,101067, doi: 10.1016/j.artd.2022.10.017, 202212	Original Article

小計2件  
合計151  
件

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 臨床研究に係る業務、重篤な有害事象及び不具合等に対して研究者等が実施すべき事項 に関する事 等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 利益相反の管理について、利益相反の手続きについて 等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・研修の主な内容 臨床研究法、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に関する事 等	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

膠原病等指定難病の診断と治療に関する研修 神経内科診療に関する勉強会 脳波勉強会 筋電図講習会 頸部血管超音波検査講習 等 計75件
--

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	452人
-------------	------

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
多田 芳史	膠原病・リウマチ内科	診療科長	38年	
江里口 誠	脳神経内科	副診療科長	24年	
荒金 尚子	呼吸器内科	診療科長	36年	
木村 晋也	血液・腫瘍内科	診療科長	37年	
野出 孝一	循環器内科	診療科長	35年	
宮園 素明	腎臓内科	診療科長	30年	
江崎 幹宏	消化器内科	診療科長	31年	
安西 慶三	肝臓・糖尿病・内分泌内科	診療科長	37年	
杉田 和成	皮膚科	診療科長	19年	
能城 浩和	一般・消化器外科	診療科長	38年	
平塚 昌文	呼吸器外科	診療科長	33年	
蒲原 啓司	心臓血管外科	診療科長	29年	
阿部 竜也	脳神経外科	診療科長	33年	
馬渡 正明	整形外科	診療科長	40年	
野口 満	泌尿器科	診療科長	36年	
上村 哲司	形成外科	診療科長	36年	
松尾 宗明	小児科	診療科長	38年	
横山 正俊	産科婦人科	診療科長	39年	
江内田 寛	眼科	診療科長	29年	
倉富 勇一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	41年	
平川 奈緒美	ペインクリニック・緩和ケア科	診療科長	39年	
入江 裕之	放射線科	診療科長	37年	
浅見 豊子	リハビリテーション科	診療科長	39年	
坂口 嘉郎	麻酔科蘇生科	診療科長	36年	
溝口 義人	精神神経科	副診療科長	25年	
山下 佳雄	歯科口腔外科	診療科長	31年	
阪本 雄一郎	高度救命救急センター	センター長	30年	
相島 慎一	病理診断科	診療科長	27年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
青木 洋介	感染制御部	部長	39年	
山下 秀一	総合診療部	部長	39年	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況(任意)	
・研修の主な内容	①看護師の特定行為研修(術中麻酔領域パッケージ) ②糖尿病看護関連
・研修の期間・実施回数	①R3.10.1～R4.9.30 ②R3.10.1～R4.9.30
・研修の参加人数	①3名 ②2名
② 業務の管理に関する研修の実施状況(任意)	
・研修の主な内容	
・研修の期間・実施回数	
・研修の参加人数	
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況	
・研修の主な内容	
・研修の期間・実施回数	
・研修の参加人数	

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 野口 満	
管理担当者氏名	診療記録センター長 安西慶三、看護部長 宮之下さとみ、薬剤部長 島ノ江千里、放射線部長 入江裕之、総務課長 南里明、医事課長 内藤浩幸	

		保 管 場 所	管 理 方 法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	経営管理課	平成16年度に電子カルテを導入し、それ以前の診療記録は、1患者1ファイルにて集中管理している。保存期間は20年間とし、診療記録の院外持出は、診療記録管理及び利用に関する規程により禁止している。エックス線写真は、放射線部において集中管理している。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療記録センター	
		看護記録	診療記録センター	
		検査所見記録	診療記録センター	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	診療記録センター	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療安全管理室	
		高度の医療の研修の実績	医学部総務課、医事課	
		閲覧実績	-	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営管理課	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	MEセンター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEセンター		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療記録センター
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療記録センター
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部 MEセンター
		監査委員会の設置状況	医学部総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務部総務課
		職員研修の実施状況	医療安全管理室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医学部総務課 医療安全管理室 薬剤部 MEセンター
		管理者が有する権限に関する状況	医学部総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医学部総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医学部総務課		

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画      2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 北島 博文
閲覧担当者氏名	医事課長 内藤 浩幸
閲覧の求めに応じる場所	医療相談室
閲覧の手続の概要	佐賀大学総務部総務課において、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きが可能となっている。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>第1 本院における医療安全管理に関する基本的考え方</li> <li>第2 医療安全管理委員会その他本院内の組織に関する基本的事項</li> <li>第3 従業者に対する医療に係る安全管理のための研修に関する基本方針</li> <li>第4 本院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li> <li>第5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針（医療安全管理委員会に報告すべき事例の範囲、報告手順を含む。）</li> <li>第6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する当指針の閲覧に関する基本方針を含む。）</li> <li>第7 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>第8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li> <li>・ 開催状況：年12回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）医療事故に係る情報の収集及び提供に関すること。</li> <li>（2）発生した医療事故の原因分析及び改善策等に関すること。</li> <li>（3）改善策の実施状況の調査及び当該策の見直しに関すること。</li> <li>（4）医療事故防止のための教育・研修に関すること。</li> <li>（5）その他医療安全管理に関し必要な事項</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 <ul style="list-style-type: none"> <li>「臨床倫理コンサルテーションチームについて」</li> <li>「経腸栄養分野における誤接続防止コネクタに係る国際規格の導入」</li> <li>「カリウム注射薬の高濃度投与 製剤量・成分量 抗菌薬投与後の観察」</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	

## 第2回

「RRS (Rapid Response System) の活動状況」

「麻薬の管理と取扱いの徹底について」

「経腸栄養分野における誤接続防止コネクタに係る国際規格の導入2」

## 第3回

「診療放射線の安全利用について (医療放射線研修)」

「剥離剤の正しい使い方～皮膚障害発生予防のために～」

「医療ガスに係る安全管理について」

### ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有 ・ 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

#### 【問題点の把握】

医療安全管理室で、各部署からのインシデント・アクシデント速報システムによる報告を全て収集している。

#### 【問題点の分析】

GRMが、収集事例の影響度を分類しサマリ化する。サマリした全事例を、定例の医療安全管理室会議にて分析する。

#### 【改善策の検討】

- (1) 事象が発生した診療科や部署と、医療安全管理室で対応策を検討する。
- (2) 定例の医療安全管理室会議で、事例の共有、分析、対応策の検討を行う。
- (3) 必要時は、臨時で関連診療科や部門によるカンファレンスを開催し、事例の共有、分析、対応策の検討を行う。
- (4) 医療安全管理委員会において審議する。

#### 【改善事例】

- ・ セイフティマスタ改修 : 全例死亡報告入力、迷惑行為報告入力、事象レベル0の入力簡素化
- ・ パニック値の報告体制整備
- ・ 人工呼吸器使用手順改訂
- ・ ECMO送血管予定外抜去への対応
- ・ アレルギー食との電子カルテへの連携のためのシステム改修
- ・ ハリーコールのアンケートを実施しハリーコール発動基準の明文化

- ・抗凝固中和剤調剤に関する使用手順作成
- ・シニアカー院内取り扱いについて作成
- ・下膳基準の見直し及び基準の作成、掲示
- ・MRI検査に関すること(磁性体金属の持ち込み事例への対応)
  - ①研修の企画
  - ②ストレッチャー及び車いす等への持ち込み禁止プレート作成、掲示
  - ③リブレの取り外し手順書の改訂、説明書改訂
- ・高難度新規医療技術(放射線・光学医療診療)導入手順書改訂、実施報告確認体制の整備
- ・除細動器・AED設置場所の周知

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>第 1 本院における院内感染対策に関する基本的考え方</p> <p>第 2 院内感染対策のための委員会その他本院内の組織に関する基本的事項</p> <p>第 3 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>第 4 感染症の発生状況の報告に対する基本的対応方針</p> <p>第 5 院内感染発生時の対応に関する基本方針</p> <p>第 6 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</p> <p>第 7 その他の本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染の予防に関すること。</p> <p>(2) 院内感染予防に係る情報の収集に関すること。</p> <p>(3) 院内感染源及び感染経路の調査に関すること。</p> <p>(4) 院内感染予防対策の確立に関すること。</p> <p>(5) 感染制御部の運営に関すること。</p> <p>(6) その他感染予防及び対策に関すること。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>第 1 回</p> <p>「COVID-19対策の再確認」</p> <p>「血液培養をいつ取るか」</p> <p>「内服抗菌薬の効果を妨げるくすりたち - 抗菌薬の相互作用のおはなし - 」</p> <p>第 2 回</p> <p>「COVID19流行の今後の見通しと対策」</p> <p>「耐性菌を出さない抗菌薬治療」</p> <p>「針刺し防止のために」</p>	

第3回

「薬剤感受性試験と結果の見方」

「TDMマニュアルが変わります」

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・ 病院における発生状況の報告等の整備 (  有 ・ 無 )

・ その他の改善のための方策の主な内容：

感染症法で届出が必要な場合は、主治医が報告書に記載し、診療科感染対策医、看護師長の確認のもと提出する。

新規発生MRSAやその他耐性菌については、感染制御部が各部署へ訪問し、治療及び感染対策の確認を行っている。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年19回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全職員対象 「医療安全・院内感染対策研修会」カリウム注射薬の高濃度投与、製剤量・成分量、抗菌薬投与後の観察/麻薬の管理と取扱いの徹底について</p> <p>医師対象 院内における医薬品の適正使用</p> <p>看護師対象 安全な与薬をするための薬剤の知識/輸液・シリンジポンプを使用する薬剤について/「薬」に関するイエローカードを用いた院内における医薬品の適正使用/抗がん剤について/手術部で使用する薬剤について/各部署で使用頻度の高い薬剤について/糖尿病薬について/等</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 ( 有・無 )</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>手順書に基づく業務の実施状況の確認として、各部門に対する医療安全スタッフで巡視を行っており、病棟等については下記を確認している。</p> <p>確認内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定数医薬品保管証の薬品の配置状況、保管や使用状況</li> <li>・ 麻薬、向精神薬の保管状況・医薬品の保管場所の表示</li> <li>・ 冷所保存の医薬品が整理整頓・指示受けの方法</li> <li>・ 薬剤投与の際の二人チェックや準備での2度以上の薬剤確認等</li> <li>・ 薬剤部内では上記巡視に加え、全薬剤師を対象に手順書の記載内容の遵守状況を薬剤師相互にチェックしている。</li> </ul>	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (  有 ・ 無 )

・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :

抗NMDA受容体脳炎に対するリツキシマブ療法

・ その他の改善のための方策の主な内容 :

調剤時の処方鑑査、病棟薬剤師による医薬品の使用状況等の確認および医師からの相談等で未承認等の医薬品の使用の情報を収集し、医療安全管理室専従薬剤師と評価し、定期的に医薬品安全管理責任者に報告し、必要に応じて院内の各種委員会で報告・検討している。また、医療安全管理室と協働して調剤上の疑義照会や病棟薬剤師からのプリアボイド報告などの事例や、各科に共通する重要な事例を選択して作成した「薬に関するイエローカード」を関連する診療科長に毎月配布し情報の共有化を図っている。

厚生労働省のHP、PMDAのHP、PMDAメーリングリスト登録による最新の医薬品情報、医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）、Drug Safety Update（医薬品安全対策情報）、日本医療機能評価機構HPの医療事故情報収集等事業からの「医療安全情報」及び製薬会社からの情報提供等を基に、重要で速やかな周知が必要な情報は随時、病棟担当薬剤師等を通じ各病棟・診療科へ案内し、その他の場合は「薬剤部からのお知らせ」として小冊子にまとめ月に1回、各病棟、各診療科へ配布している。緊急安全性情報・安全性速報、直近のPMDA医療安全情報等は医薬品情報室から病棟担当薬剤師等を通じて速やかに処方医、診療科・病棟へ案内するなど、必要な情報を必要な場所へ必要なタイミングで提供するように努めている。

これらの情報は、院内の医薬品情報(DI)のホームページで閲覧可能にしている。また、それらの医薬品情報等は医学生・薬学生等の教育資材としても活用している。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																				
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年43回																				
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【医療機器関係】39回</p> <p>○人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器等に関する研修会：10回</p> <p>○シリンジポンプ、輸液ポンプ等の医療機器に関する研修：7回</p> <p>○新規導入医療機器に関する研修：11回</p> <p>○新規採用医療従事者等への研修：11回</p> <p>【放射線関係】</p> <p>当院設置の診断用高エネルギー放射線発生装置および診療用放射線発生装置の有用性・安全性、使用方法、保守点検、不都合が発生した場合の対応、使用に関して特に法令上遵守すべき事項についての講義を受講した。</p> <table border="1" data-bbox="199 1041 1404 1646"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>研修内容（テーマ・講師）</th> <th>研修期間</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>安全取扱講習会 Versa HD 白石 俊太 (キャノンメディカルシステムズ)</td> <td>令和4年4月26日 (17:00~18:00)</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>安全取扱講習会 FlexitronHDR 関根 祐輝 他(千代田テクノル)</td> <td>令和4年8月18日 (17:15~18:15)</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>安全取扱講習会 Versa HD 木崎 莉玖 (キャノンメディカルシステムズ)</td> <td>令和4年10月25日 (17:00~18:00)</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>安全取扱講習会 FlexitronHDR 鴻巣 洋平(千代田テクノル)</td> <td>令和5年2月9日 (17:15~18:15)</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>		No	研修内容（テーマ・講師）	研修期間	参加人数	1	安全取扱講習会 Versa HD 白石 俊太 (キャノンメディカルシステムズ)	令和4年4月26日 (17:00~18:00)	10	2	安全取扱講習会 FlexitronHDR 関根 祐輝 他(千代田テクノル)	令和4年8月18日 (17:15~18:15)	9	3	安全取扱講習会 Versa HD 木崎 莉玖 (キャノンメディカルシステムズ)	令和4年10月25日 (17:00~18:00)	9	4	安全取扱講習会 FlexitronHDR 鴻巣 洋平(千代田テクノル)	令和5年2月9日 (17:15~18:15)	9
No	研修内容（テーマ・講師）	研修期間	参加人数																		
1	安全取扱講習会 Versa HD 白石 俊太 (キャノンメディカルシステムズ)	令和4年4月26日 (17:00~18:00)	10																		
2	安全取扱講習会 FlexitronHDR 関根 祐輝 他(千代田テクノル)	令和4年8月18日 (17:15~18:15)	9																		
3	安全取扱講習会 Versa HD 木崎 莉玖 (キャノンメディカルシステムズ)	令和4年10月25日 (17:00~18:00)	9																		
4	安全取扱講習会 FlexitronHDR 鴻巣 洋平(千代田テクノル)	令和5年2月9日 (17:15~18:15)	9																		
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																					
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 放射線機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>【医療機器関係】</p>																					

年度初めに保守点検計画を策定し、その計画は医療機器管理システムにて管理され、各員が使用する携帯端末にて情報を共有し計画に沿って保守点検を実施する。

**【放射線関係】**

製造業者の点検説明書及び添付文書に基づき、電気的安全点検、機械的安全点検、予防的点検等、保守点検表を作成し行っている。

**④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集  
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況**

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (  有 ・ 無 )
- ・ 放射線機器に係る情報の収集の整備 (  有 ・ 無 )
  
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：  
下行大動脈ステント留置後の気管縦隔瘻に対するヒストアクリル気管支鏡下充填術。  
ルート確保が困難な症例における中心静脈用カテーテルSMACプラスの抹消静脈留置。

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

**【医療機器関係】**

- ・ 未承認新規高度管理医療機器に関する定期報告の実施。
- ・ PMDA、メーカーから情報を収集し、医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者へ報告。  
また、各セイフティマネージャおよび必要に応じ全職員へメールで周知。
- ・ 医療機器安全管理マニュアルの改訂。

**【放射線関係】**

- ・ 各製造業者より安全情報が提供される。
- ・ 医薬品医療機器等安全性情報（厚生労働省ホームページ）及び医療機器関連情報（医薬品医療機器総合機構ホームページ）より情報収集を行っている。
- ・ 製造業者より提供された情報文書を機器に携わる者へ閲覧させ、保存、ファイルしている。
- ・ 放射線部情報システム（RIS）を使用し、装置マニュアル及び安全管理マニュアルの閲覧ができる。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・責任者の資格 (<input checked="" type="checkbox"/>医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>「医療に係る安全管理のための指針」で医療安全管理責任者について副病院長（安全管理・中期計画担当）が医療安全管理責任者となることを明記しており、「医療安全管理委員会規程」に基づき、同副病院長が委員長となることとしている。また、医療安全管理体制図を省令改正に即したものとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> （1名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>調剤や病棟担当薬剤師から報告のあった疑義照会、プレアボイド・インシデント報告事項は、当該診療科長に文書にて案内し、薬事委員会、医療安全管理委員会で報告している。また、医療安全管理室と協働して、「薬」に関するイエローカードの文書を定期的に発行し周知している。また、医薬品情報室という専門の部署を設置し、PMDAらのメール等利用し医薬品に関する安全性情報、処方統計データなどについて一括して情報を収集・吟味・整理し、必要な情報を必要なタイミングで現場に周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>院内において未承認薬を用いた治療、ならびに医師から申請や調剤や病棟担当薬剤師から報告のあった適応外・禁忌使用を把握したものについて、医療安全管理室専従薬剤師がリスク、科学的妥当性を医薬品情報室等で評価検討し、当該治療の責任者は医薬品安全管理責任者とその実施の可否について協議する。医薬品安全管理責任者はその実施の可否について佐賀大学医学部附属病院未承認新規医薬品導入評価委員会の意見を聴く。医薬品安全管理責任者は、委員会からの意見書を参考に採否を決定し、当該診療科医師へ通知すると共に病院長へ報告する。その内容は医療安全管理委員会、運営協議会、各種関連会議に報告している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：(所属：薬剤部， 職種：薬剤部長 )</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( 有・無 )</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>① 日々、診療記録センターでインフォームド・コンセントの記載について確認し、不備については指導を行っている。また、同意書のスキャン状況の確認も行っている。</p> <p>② 医師、看護師、メディカルスタッフといった多職種からなる監査担当者が、ピアレビューの中でインフォームド・コンセントの内容も監査し、結果を診療記録委員会、病院運営協議会等で報告している。必要に応じ、文書による指導を行っている。</p> <p>③ 手術・検査・特殊療法同意書（化学療法を含む）については書式を統一化し、新規または改訂時には診療記録委員で内容の審査を行う。承認されたものを電子カルテに掲載し使用可能としている。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>① 診療記録センター職員：日々の業務の中で、量的・質的監査を行い、不備に対しては掲示板やチェックリストにて通知している。不備の目立つ項目については、病院通知文を発行し、周知を図っている。</p> <p>② 医師、看護師、メディカルスタッフといった多職種からなる監査担当者：各監査担当者がチェックリスト（23項目）について、他科の診療記録の監査を行っている。</p> <p>③ 診療記録委員：②の結果を診療記録委員会で報告し情報共有するとともに、病院運営協議会等に報告している。また、各診療科にフィードバックを行う際に、改善項目を通知している。全般的に不備の多い項目については、文書により指導を行っている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（15）名  うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（6）名  うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名  うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名  うちその他職員：専従（0）名、専任（0）名、兼任（8）名</p> <p>・活動の主な内容：</p>	

- (1) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。
- (2) 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。
- (3) 患者や家族への説明など医療事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。
- (4) 医療事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。
- (5) 医療安全に係る連絡調整に関すること。
- (6) 医療安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。
- (7) その他医療安全対策の推進に関すること。

医療統計（院内であらたに発生した合併症や事例）の以下の 22 項目

1. 脳梗塞あるいは脳出血：症候性で画像検査上、明らかな病変を認めるもの。
2. 意識障害：JCS で 3 桁の状態が 1 日以上持続したもの。
3. 神経障害：歩行障害や麻痺、その他の持続する神経障害の発症。抗がん剤使用時は、Grade3 以上。
4. けいれん：重積状態のもの。
5. 心停止あるいは心室細動：心肺蘇生を必要としたもの。
6. 心筋梗塞：あらたな Q 波の出現及び CPK の上昇（ $\geq 1,000U$ ）。
7. 心不全：PCPS、IABP などの補助装置を必要としたもの（院内で装着したもの）。
8. 急性腎不全：血液透析を必要としたもの。CHDF を含むが、すでに慢性透析を導入されているものは除く。
9. 呼吸不全：人工呼吸器を必要としたもの。手術後の人工呼吸器管理に関しては、7 日以上挿管を必要としたもの。
10. 肝不全：血液浄化療法を必要としたもの。
11. 術後の重篤な感染症（SSI）：切開排膿、排液を必要としたもの。膿瘍、縦隔洞炎、膿胸、難治性（7 日以上治療を必要としたもの）創感染などで創の開放や再手術を必要としたもの。
12. 敗血性ショック：集中治療室管理を要したもの。
13. 重篤な視力、聴力などの感覚障害をきたしたもの（該当器官への手術による一過性的変化と

考えられるものは除く）。

14. 多量出血（3000ml 以上）。
15. 内視鏡検査や処置中の消化管穿孔、重症膵炎。
16. 造影剤や薬剤によるアレルギー、ショック（入院加療を必要としたもの）。
17. 心臓カテーテル検査や血管内治療後の重篤な合併症：心タンポナーデなどで輸血や手術を必要とした出血、血腫形成。
18. 予定していなかった再手術（1か月以内）や追加手術。
19. 長時間手術：予定手術時間の2倍あるいは、4時間以上の超過延長。
20. 想定外の早期再入院。
21. 中心静脈穿刺に関連した合併症：動脈穿刺、気胸。
22. 肺動脈血栓塞栓症

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（7件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
  - （1）診療科等の長から高難度新規医療技術を用いた医療提供に関する規程（以下「規程」という。）第4条第1項に定める申請（以下「申請」という。）が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、規程第3条第1項に定める高難度新規医療技術評価委員会（以下「評価委員会」という。）に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。
  - （2）前（1）の意見の求めに応じ、評価委員会が述べた意見を踏まえ、当該高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科等の長に対しその結果を適否結果通知書（様式第2号）により通知すること。
  - （3）当該高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合又はその他必要な場合には、診療記録等の記載内容を確認すること。
  - （4）高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうか、職員の遵守状況の確認を行うこと。

- (5) 高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び規程に定める事項の職員の遵守状況を確認した時に、その内容について病院長及び医療安全管理責任者に報告すること。
- (6) 評価委員会での審査資料及び議事概要並びに職員の遵守状況の確認記録を審査の日又は確認の日から少なくとも5年間保存すること。
- (7) 評価委員会に係る事務を行うこと。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( ・無 )
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 ( ・無 )

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 ( 26件 )、及び許可件数 ( 25件 )
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 ( ・無 )
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 ( ・無 )

・活動の主な内容 :

[高度医療機器]

当該診療科より未承認新規機器の患者への提供申出を受けた場合、未承認新規高度管理医療機器提供申請書及び審査内容確認書にて申請内容の確認を行うと共に、医療機器安全管理責任者はその実施の可否について未承認新規高度管理医療機器評価委員会の意見を求める。評価委員会では当該医療の提供の実施の「倫理性」、「科学的妥当性」及び院内で安全に行うことの「実現性」について審査する。医療機器安全管理責任者は評価委員会の意見を参考に適否を決定し、管理者への報告と当該診療科への通知を行う。また、当該未承認新規機器が適正な手続きに基づいて使用されたかどうか、遵守状況等の確認を行う。

[医薬品]

未承認新規医薬品導入部門長である医薬品安全管理責任者が、未承認新規医薬品導入評価委員会の開催を依頼する。未承認新規医薬品導入評価委員会では当該治療実施の「倫理性」、「科学的妥当性」及び院内で安全に行うことの「実現性」について審査する。委員会の長は、当該未承認新規医薬品の使用の適否、使用条件、使用後に報告を求める症例等について、医薬品安全管理責任者に対して未承認新規医薬品導入意見書を用いて意見を述べる。また、科学的根拠が確立していない未承認新規医薬品については、有効性、安全性の検証の必要性や、当該医療機関の体制等を勘案した

上で、臨床研究として使用する等、科学的根拠の構築に資する使用方法についても検討する。医薬品安全管理責任者は、委員会からの意見書を参考に採否を決定し、当該診療科医師へ通知すると共に病院長へ報告する。未承認新規医薬品等を用いた医療が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び当該未承認薬投与後に患者が死亡した場合又はその他必要な場合には、診療記録等の記載内容を確認する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  ・ 無 )
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (  ・ 無 )

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 385 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 30 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - 医療事故、死亡事例に係る情報の収集及び提供
  - 発生した医療事故の原因分析及び改善策等の検討
  - 改善策の実施状況の調査及び当該策の見直し
  - 再発防止のための教育・研修に関すること

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り (  (病院名：神戸大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (  (病院名：防衛医科大学校病院) ・ 無)
- ・ 技術的助言の実施状況
  - 【主な技術的助言事項】
    - ・ 中心静脈カテーテル挿入 (CVC) に関し、提言を踏まえた医療安全管理部門主体の管理体制の確立
    - ・ レポートの報告件数について、更なる年間レポート総数増加の取り組み
  - 【助言事項に対する対応と改善状況】
    - ・ CVC を挿入する関連診療科にて CVC 抜去・挿入に係るワーキンググループを発足し、提言の内容について検討。リスク評価、CVC の同意書、CVC 手順書の標準化、挿入・抜去後の観察項目のテ

<p>ンプレート化、医療安全管理マニュアルの改訂について整備予定としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度に事象レベル0の入力簡素化、患者相談（迷惑行為）の報告開始等、報告数が増える取り組みを行った。2022年度のレポート報告件数は2021年度と比較し約1.2倍（1,602件→1,920件）と増加した。</li> </ul>
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制の確保状況</li> </ul> <p>佐賀大学医学部附属病院医療相談室内規に基づき、患者相談窓口として、「医療相談室」を設置し、対応している。</p>
<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施状況</li> </ul> <p>医療に係る安全管理のための研修を、主にe-learningシステムを用いて実施し、年2回以上の受講を義務付けているほか、採用時研修（4月）、中途採用者研修（毎月）の中で、特定機能病院に求められる医療安全管理体制、患者の安全確保のための手順と規則等を説明し周知している。</p>
<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施状況</li> </ul> <p>管理者：特定機能病院管理者研修（令和4年11月30日受講）  医療安全管理責任者：特定機能病院管理者研修（令和5年2月20日受講）  医薬品安全管理責任者：特定機能病院管理者研修（令和5年2月24日受講）  医療機器安全管理責任者：特定機能病院管理者研修（令和5年2月3日受講）</p>
<p>⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による評価の受審状況</li> </ul> <p>公益財団法人日本医療機能評価機構「病院機能評価：一般病院3」 令和4年3月～令和5年7月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況</li> </ul> <p>病院ホームページの掲載、病院1階ロビー等に掲示</p>

・評価を踏まえ講じた措置

評価C項目とされた4項目については、各改善要望事項に対する改善の取り組みを行い、その取り組み状況は確認審査の書類により報告している。なお、条件付認定となっていたが、9月1日付で条件付が解除され、正式に認定されたところである。

## 規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

### 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

#### ・ 基準の主な内容

#### 病院長に求められる資質・能力

#### (1) 人格が高潔で学識に優れ、かつ、医師免許を有している者

人格が高潔で学識に優れ、地域及びグローバルな視野を持ち、医学教育、医学研究及び高度医療を担うことができる能力を有し、また、佐賀県や佐賀県医師会等と連携し、本院が佐賀県域において地域医療の中核的役割を果たす使命を達成することができる者で、かつ、医師免許を有している者

#### (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者

高度かつ先端的な医療を提供する特定機能病院の管理者として必要な医療安全管理業務（※）の経験並びに医療安全を第一に考える姿勢及び指導力等、医療安全管理について十分な知見を有し、医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者

※医療安全管理業務とは以下のいずれかの業務をいう。

- ①医療安全管理者、医療機器安全管理責任者の業務
- ②医療安全管理委員会の構成員としての業務
- ③医療安全管理部門における業務
- ④その他上記に準じる業務

#### (3) 病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有する者

当院又は当院以外の病院での組織管理経験等、高度な医療を司る特定機能病院を管理運営する上で必要な資質・能力及び経営改善能力等の資質・能力を有し、病院構成員の意見反映に留意しつつ、医療を取り巻く様々な変化に適切に対応し、中長期的な目標に向かい具体的な構想を示し、強いリーダーシップを持って病院経営にあたり、適正な管理運営ができる者

#### (4) その他以下に掲げる資質及び能力を有する者

本院の理念である「患者・医療人に選ばれる病院を目指して」や病院目標を念頭に入れ、佐賀県域における医療の最後の砦である大学病院としての使命を認識し、高度急性期病院の体制と機能を強化し、超高齢化社会の医療の中核を担うとともに、地域医療及び先端医療への社会の要請に応えられる未来を担う医療人の育成に積極的に取り組むことができる者

#### ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 公表の方法

病院ホームページの「病院案内」の中で「病院長選考について」として専用ページを設け、関係規程等を掲載している。

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 病院の管理運営，人事，経営及びその他病院に関する重要事項</li>   <li>・審議の概要の従業者への周知状況 毎月開催する診療科長が出席する病院運営協議会において、病院企画室会議における審議内容等を報告するとともに、病院ホームページにおいて、議事要旨を公開し、院内職員への周知を図っている。</li>   <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）</li> <li>・公表の方法 大学ホームページの「佐賀大学規則集」に掲載</li>   <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/>無 ）</li> </ul>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
野口 満	○	医師	病院長
入江 裕之		医師	副病院長
安西 慶三		医師	副病院長
宮之下 さとみ		看護師	副病院長、看護部長
山下 佳雄		歯科医師	副病院長
江崎 幹宏		医師	病院長特別補佐
島ノ江 千里		薬剤師	病院長特別補佐
阪本 雄一郎		医師	病院長特別補佐
吉田 ひとみ		看護師	副看護部長
北島 博文		事務職員	事務部長
溝口 弘		事務職員	経営管理課長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法  
大学ホームページの「佐賀大学規則集」に掲載
- ・ 規程の主な内容  
佐賀大学医学部附属病院の組織及び運営について定め、また、病院長が病院の管理運営に関することを総括し、病院に勤務する職員を監督することが定められている。
  
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
【職名】 副病院長（安全管理・中期計画担当）  
【役割】 主として病院における医療事故防止のための安全管理体制の確立及び危機管理体制の構築並びに中期計画実施に関する病院長の職務を補佐する  
【職名】 副病院長（卒後臨床研修担当）  
【役割】 主として本院及び関連病院における研修指導及び専門能力を高めるための教育プログラムの構築に関する病院長の職務を補佐する  
【職名】 副病院長（経営企画・再整備担当）  
【役割】 主として病院経営の充実を図るために企画立案及び経営の分析等経営管理に関する病院長の職務を補佐する  
【職名】 副病院長（医療業務担当）  
【役割】 主として病院業務の改善と患者サービス向上に関する病院長の職務を補佐する  
【職名】 副病院長（働き方改革・業務改善担当）  
【役割】 主として働き方改革への対応等、適正な勤務時間管理方法の企画立案並びに業務改善に関する病院長の職務を補佐する  
【職名】 病院長特別補佐（広報・地域連携担当）  
【役割】 附属病院における広報及び地域連携について、企画・立案するとともに、当面する諸課題及び病院長が必要と認める事項について、病院長を補佐する  
【職名】 病院長特別補佐（環境改善担当）  
【役割】 附属病院における環境改善について、企画・立案するとともに、当面する諸課題及び病院長が必要と認める事項について、病院長を補佐する

【職名】 病院長特別補佐（災害・大規模感染対策担当）

【役割】 附属病院における災害・大規模感染対策について、企画・立案するとともに、当面する諸課題及び病院長が必要と認める事項について、病院長を補佐する

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院長、副病院長、病院長特別補佐などの病院執行部はじめとする多職種が集まる病院マネジメント勉強会（定期開催：毎月2回）を実施している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況					<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>    前回の監査委員会以降に開催された医療安全管理委員会、未承認新規医薬品導入評価委員会、未承認新規高度管理医療機器評価委員会、高難易度新規医療技術評価委員会、業務改善計画、その他医療安全の取り組みに関する資料・議事要旨等を監査した。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>    病院ホームページの「病院案内」の中で「医療安全監査委員会」として専用ページを設け、関係規程等を掲載している。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
綾部 貴典	宮崎大学医学部 附属病院	○	医療機関において、医療安全に関する業務若しくは医療安全に係る研究に従事した経験を有する者。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
前川 律子	公益社団法人 佐賀県看護協会		医療機関において、医療安全に関する業務若しくは医療安全に係る研究に従事した経験を有する者。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩永 幸三	認定特定非営 利活動法人 日本 IDDM ネットワーク		医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

本学において定められた「法令遵守の基本方針」及び「国立大学法人佐賀大学における業務の適正を確保するための体制等について」に基づき、学長から指名された内部統制担当理事において、内部統制システムが有効に機能しているか、役員会の議を経て定められた項目について、役員会、大学運営連絡会等において状況の調査、確認を行い、必要に応じ、意見交換を行っている。

また併せて、監査室が実施する内部監査及び監事が実施する監事監査において、関連する事項についても監査を実施している。

・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )

・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )

・ 内部規程の公表の有無 (  ・ 無 )

・ 公表の方法

大学ホームページの「佐賀大学規則集」に掲載

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況            国立大学法人佐賀大学役員会、国立大学法人佐賀大学経営協議会にて、病院経営状況及び運営状況等の報告を行い、各委員からは忌憚のない意見や質問を受け、回答を行うとともに、その後の運営等に反映させている。また、令和元年10月2日より国立大学法人佐賀大学医学部附属病院業務監督諮問委員会を設置し、必要に応じて管理運営状況等について協議し、意見を受ける体制となっている。</li> <li>・ 会議体の実施状況            役員会（年22回）            経営協議会（年8回）            医学部附属病院業務監督諮問委員会（随時）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数            役員会（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年8回）            経営協議会（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年4回）            医学部附属病院業務監督諮問委員会（有・<input type="checkbox"/>）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・ 公表の方法            大学ホームページの「佐賀大学規則集」に掲載</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年〇件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none"><li>○ 電子カルテ上の医療安全管理室ホームページトップに掲載。</li><li>○ 平成28年度に開催した研修会で周知、以降は採用時研修の際に周知。</li><li>○ 採用時研修(4月)、中途採用者研修(毎月)の際に周知。</li><li>○ 医療安全管理ポケットマニュアルに「公益通報対応フローチャート」を掲載。</li></ul></li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類(任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページへの掲載、病院広報誌、新聞・テレビ報道 等	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 以下の横断的診療班(全12班)を設置している。 「褥瘡対策班」、「緩和ケア診療班」、「栄養サポート班」、「輸血療法室」 「臨床腫瘍班」、「脳卒中診療班」、「外来化学療法室」、「口腔ケアサポート班」、 「呼吸サポート班」、「糖尿病診療班」、「結節性硬化症ボード」、 「臨床倫理コンサルテーションチーム」	